

六甲高山植物園 絶滅が危惧される貴重な花 「ヒゴタイ」8月下旬まで見頃です！

六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治 阪神電気鉄道株式会社100%出資)が六甲山上で運営を行っている六甲高山植物園では、絶滅危惧種の「ヒゴタイ」が開花しました。

「ヒゴタイ」はキク科の多年草で、鮮やかなブルーと、てまり型の花が特徴です。変わった形をした鮮やかな青い花は訪れた人の注目を集めています。2年前にリニューアルした高茎草原では、黄色のオミナエシと一緒に咲く姿も見られます。爽やかな風に揺れる姿は涼しげで、夏の暑さを忘れさせてくれます。



■ヒゴタイ(キク科)

やや乾いた草原に生える高さ1mほどの多年草です。かつてはよく見られた花ですが、草地の開発や生育場所である草地の減少により、現在では数が減少しています。九州ではやまれに見られ、本州ではほとんど見られず、環境省のレッドデータブックでは、絶滅危惧Ⅱ類(VU)に分類されています。トゲのようなものは一つ一つが小さな花で、たくさんの花が集まって一つの球体を作っています。現在、園内に咲く「ヒゴタイ」は見頃を迎えており、8月下旬頃までお楽しみいただける見込みです。



◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園

TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137/〒657-0101神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【入園料】大人(中学生以上)700円 / 小人(4歳~小学生)350円

【開園期間】~11月23日(火・祝)【休園日】8月中は無休。

【開園時間】10:00~17:00(16:30受付終了)

【駐車料金】平日:500円、土日祝:1,000円、※8月11日(水)~15日(日)は2,000円

※新型コロナウイルス感染症の影響により、営業・イベントの内容を変更・中止する場合があります。